

科目名	密教学特殊講義F							学期	前期
副題	密教図像学を学ぶ。				授業方法	講義	担当者	松長潤慶	
ナンバリング	M3-01-219	実務経験の有無	無	関連DP	1, 2, 4	単位数	2	他	—

授業の目的と概要

インドに興り、東南アジア・中国を經由し、日本に流布した密教は、その発展過程において様々な尊格を生み出した。当授業では密教図像に基づいて、大乘仏教の尊格をも含め、それぞれの密教尊格の形成と発展について、主として漢訳資料の像造表現を中心に考察を加え理解する。インドの図像資料としては、『サーダナマーラー』や『ニシュパナヨーガーヴァリー』等が基本的な資料であるが、まず、漢訳密教経典・儀軌、ならびに我が国に現存する図像資料を講読し、それぞれの図像的特徴からその尊格の展開をたどり理解を深める

授業の到達目標

密教尊像の基本的な智識を身につけ、漢訳図像資料を研究資料として扱えるようになる。

授業計画

1. 概論（講義の進め方等）
2. 漢訳資料の基本的な扱い方
3. 漢文資料の基本的な講読練習（般若心経 前半）
4. 漢文資料の基本的な講読練習（般若心経 後半）
5. 尊格表現方法の基本知識（仏の種類）
6. 尊格表現方法の基本知識（仏の展開）
7. 尊格表現方法の基本知識（曼荼羅の種類）
8. 尊格表現方法の基本知識（曼荼羅の展開）
9. 漢訳図像資料講読（図像鈔）
10. 漢訳図像資料講読（図像鈔）
11. 密教尊像の基本的な知識を深めるための密教経典・儀軌の考察
12. 図像資料講読演習（密教経典講読）
13. 図像資料講読演習（密教経典講読）
14. 図像資料講読演習（密教経典講読）
15. 図像資料講読演習（密教経典講読）

準備学習(予習・復習)・時間

予習は必要ないが、授業後の復習が望ましい。約1時間。

テキスト

大正新脩大蔵経図像部

参考書・参考資料等

①松長有慶編『密教を知るためのガイドブック』法蔵館 1995年②頼富本宏・下泉全暁『密教仏像図典』人文書院 1994年③佐和隆研『仏像図典』吉川弘文館 1962年

学生に対する評価

発表、およびレポート(100%)

ルーブリック(目標に準拠した評価)

- (C) 漢訳資料を扱える。
- (B) 密教尊像に関する知識を得る。
- (A) 密教図像に関する資料を扱える。
- (S) 密教図像に関して体系的に理解できる。

課題に対するフィードバックの方法

授業毎に確認する。

その他

授業内で講読演習を行うので、出席を重視する。また、各自の授業内での演習およびレポートで判断するレポート(60%)、授業参加の積極性(30%)、ノート作成(10%)